

平成 2 3 年度 事業報告書

自 平成 2 3 年 4 月 1 日
至 平成 2 4 年 3 月 3 1 日

一般社団法人日本音楽制作者連盟

【目次】

《平成23年度をふりかえって》	P. 2
《平成23年度の事業内容》	
1. 著作権隣接権等の権利の擁護の推進及び研究	
(1) 実演家著作権隣接権センター（CPRA）の運営	P. 3
(2) 映像コンテンツ権利処理機構（aRma）	P. 3
(3) 音制連における著作権隣接権委員会	P. 4
(4) 音制連における放送委員会	P. 4
(5) 著作権隣接権に係る権利行使の受任	P. 4
(6) 未登録者への対応	P. 4
(7) 著作権隣接権に係る報酬等の分配	P. 5
(8) AMO データベースの運営	P. 5
(9) 各種書類のデジタル化推進	P. 5
2. 音楽制作事業に関する調査、研究及び事業支援	
(1) ビジネスモデル研究	P. 5
(2) 違法配信対策	P. 8
(3) FMPJ 総合研究所	P. 8
(4) コンサートツアー中止保険	P. 8
3. 会員相互交流の促進及び情報発信	
(1) 組織活性	P. 8
(2) 広報活動	P. 9
(3) セミナー、研修会の開催	P. 10
(4) 海外視察	P. 10
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業	
(1) 公益目的支出計画	P. 10
(2) 共通目的事業	P. 10
(3) 社会貢献の実現	P. 11
(4) 25周年記念事業「音楽ミュージアム」研究	P. 13
(5) 後援助成	P. 13
(6) 関係団体との協力	P. 15
(7) 協議会等への参加	P. 17
(8) 講師派遣	P. 17

平成23年度 事業報告書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

《平成23年度をふりかえって》

平成23年度を振り返ると、東日本大震災への対応に追われる1年間でありました。当連盟でも、震災直後に「NEXUS AID 義援金プロジェクト」を立ち上げ、会員社並びに一般の音楽ファンからの義援金を募り、被災された各県の災害対策本部へ送金させていただきました。この義援金プロジェクトから引き継ぐかたちで、「音楽文化復興支援プロジェクト」を開設し、音楽を通じた復興のための支援金を募り、被災地域の中学校に楽器を寄贈致しました。5月に大阪で開催した「東日本大震災 支援チャリティーコンサート What a Wonderful World in KANSAI」での収益もこの音楽文化復興支援プロジェクトで活用させていただきました。これらの復興支援活動は今後も継続して取り組んでいきます。

著作隣接権関連では、aRma を窓口として放送番組の権利処理が本格的に始動致しました。当連盟も番組のDVD化や海外番販、インターネット利用等に関する権利を取り扱っています。今後益々増加していくであろう放送番組の二次利用については、どこまでの利用範囲で、どのような形式で委任していただくことが会員プロダクションのニーズに応えられるのかを現執行部で早急に検証し、なるべく早い時期に会員各社にご案内したいと考えています。

また、音楽の権利処理については、芸団協・CPRA が平成24年4月に公益社団法人へ移行しましたが、これを機に芸団協の理事会をはじめとする組織改革が行われました。当連盟からは引き続き理事、監事を派遣して、権利者主導による芸団協運営を目指し、CPRA における円滑な権利処理実現のために注力していきます。また、組織改革に併せて、CPRA 経費支出の見直しも行われ、平成23年度限りで放送二次使用料からの共通目的基金への拠出が廃止されることとなりました。これにより、権利者分配額が増額することになります。

現執行部の任期も残り1年となり、上記の権利処理体制の充実とともに、いくつかの会員サポート事業の総括を行いたいと考えます。中でも昨年度はLIVE NEXUS やNEXUS web の活動を通じてプロダクション事業支援を展開してきましたが、今年度はさらに間口を広げて多くの会員社に参加していただけるような施策も準備しています。是非、これまで以上に積極的な関わりを期待します。そして、率直なご意見をお待ちしています。これらの声を集めて、当連盟が進むべき方向性を残りの1年間で確立していかなければならないと考えます。

一般社団法人日本音楽制作者連盟 理事長 大石征裕

《平成23年度の事業内容》

1. 著作権隣接権等の権利の擁護の推進及び研究

(1) 実演家著作権隣接権センター（CPRA）の運営

日本芸能実演家団体協議会、日本音楽事業者協会と協力して、実演家著作権隣接権センター（CPRA）の運営を行い、文化庁長官指定団体業務、著作権等管理事業法による管理事業、指定管理団体（sarah、SARVH）からの委託による分配業務など、実演家の音楽・映像に係る下記①～③の権利処理業務について、正確かつ迅速な権利者分配が実施できるよう、実効的活動及び研究を行った。

CPRA は、最高意思決定機関として設立3団体の代表者により構成される『顧問会議』、CPRA に権利行使を委任した団体等から選任された13名の運営委員によって構成される『運営委員会』によって運営されており、音制連からは、顧問1名、運営委員4名が参画した。

また、平成24年度に日本芸能実演家団体協議会は公益社団法人への移行を目指しており、同協議会内において権利者主導による新たな運営体制を確立するための準備を進めた。

①文化庁長官指定団体業務

- ・ 商業用レコード二次使用料請求権に関する事項
- ・ 貸与報酬請求権（貸レコード使用料）に関する事項

②著作権等管理事業法による管理事業業務

- ・ 商業用レコード放送用録音に関する事項
- ・ 商業用レコード貸与権に関する事項
- ・ 放送番組二次利用一任型業務に関する事項
- ・ 商業用レコードの送信可能化権に関する事項

③委託による分配業務

- ・ 私的録音補償金に関する事項
- ・ 私的録画補償金に関する事項

(2) 映像コンテンツ権利処理機構（aRma）

放送番組等の映像コンテンツの権利処理窓口を一元化し、処理業務の効率化を目的に日本音楽事業者協会並びに日本芸能実演家団体協議会とともに設立した「映像コンテンツ権利処理機構」に理事2名、運営委員5名を派遣し、映像コンテンツの二次利用に係る円滑な権利処理の実現に向けた活動を推進した。また、放送番組のネット上での利用等に関する協議を行う aRma と民放連との連絡会議に委員を派遣した。

さらに、地上波放送番組のCATV 同時再送信報酬の分配に向けて協議を開始した。

（３）音制連における著作隣接権委員会

前号（１）の CPRA 運営並びに前号（２）の aRma 運営に対し、音楽制作者の意見をより反映させることを目的として、著作隣接権委員会を設置し、諸課題の検討を行った。

また、契約実務において不利な条件を強いられる不平等契約の実態について情報収集を行った。

（４）音制連における放送委員会

放送番組の出演条件並びにこれに派生する二次利用等の適正な在り方について、また、IP サイマル放送での実演家の権利に関する諸課題について各事業者からの事業計画の説明を受けると共に、権利及びビジネスの在り方について提言を行った。

また、通信事業者と連携し、ライブを収録した放送番組の制作及びマルチユースに係る製作著作の在り方について調査研究を行った。

（５）著作隣接権に係る権利行使の受任

CPRA 及び aRma が取り扱う以下の権利について、会員プロダクション及び権利を委任する音楽制作者より権利行使に関する委任を受けて、その権利報酬等について正確、且つ、迅速な権利者分配を実施した。

- ・ 商業用レコードの二次使用料及び放送用録音使用料
- ・ 商業用レコードの貸与に係る使用料及び報酬
- ・ 私的録音録画補償金
- ・ 放送番組のビデオ化等二次利用に関する報酬

（６）未登録者への対応

実演家の権利行使に関する委任のない音楽プロダクションやアーティスト等の音楽制作者に対し著作隣接権の啓発を行った。その具体策として、日本ダンスミュージック連盟（FDJ）等の関係団体との協力体制を強化し、未登録者の登録率を高めた。具体的には、新規 79 社（正会員、権利委任個人法人）の権利行使の委任を受け、計 230 アーティストが新たに登録された。

(7) 著作隣接権に係る報酬等の分配

<<平成23年度・会員への分配額（手数料控除後）>>

	平成22年度実績	平成23年度実績	前年比	備 考
①貸レコード使用料	¥755,760,133	¥988,423,260	131%	H22 年度徴収＋判明者追加
②放送二次使用料	¥1,053,135,943	¥1,040,733,115	99%	H22 年度徴収＋判明者追加
③録音権	¥573,596,970	¥475,809,012	83%	H22 年度徴収
④私的録音補償金	¥41,421,690	¥24,367,338	59%	H22 年度徴収＋判明者追加
⑤私的録画補償金	¥43,335,735	¥46,130,708	106%	H22 年度徴収
⑥放送番組二次使用料	¥61,741,817	¥115,541,088	187%	H19 年～H22 年度徴収
①～⑥小計	¥2,528,992,288	¥2,691,004,521	106%	
事務手数料の期末割戻	¥0	¥59,928,197		
分配総合計	¥2,528,992,288	¥2,750,932,718		

※上表の通り分配事務手数料収入における剰余金を正会員・権利委任者へ割戻しを実施した。

(8) AMO データベースの運営

日本音楽事業者協会と協力し、CPRA 隣接権使用料分配の基礎となる「AMO 隣接権データベース（アーティスト及びプロダクションの実演実績記録データベース）」構築を推進した。他団体からの資料提供を含め、現保有データの追加及び更新を行い、「商業用レコード放送二次使用料」「貸レコード使用料」「私的録音補償金」「私的録画補償金」の他、今後派生する実務的な課題解決のための研究及びデータ整備を行った。

(9) 各種書類のデジタル化推進

現在、収集保存している各種書類について、収集データのデジタル化及び分配資料のデジタル化に向けて関係諸団体と協議を開始した。

また、過去に当連盟が実施した事業の記録用映像のデジタルアーカイブ化を推進した。

2. 音楽制作事業に関する調査、研究及び事業支援

(1) ビジネスモデル研究

音楽作品やコンサートのプロモーション展開、チケット・マーチャンダイジングの流通、アーティストアプリの開発、各種メディアとの連携など幅広く今日のプロダクションビジネスにおける課題抽出を行い、将来を見据えたビジネスモデル研究、実証実験を実施した。

特にプロダクションの活動領域拡張、業務の効率化を目的として FMP エンタープライズ事業部を設置し、専門スタッフ・アドバイザーを配して以下の各項事業を遂行した。

①NEXUS-web サイト

プロダクションビジネスの拡大につながるよう音楽ファン向けサイト「NEXUS-web」を運営し、日々更新される音楽関連ニュース、アーティスト情報、作品情報、ライブ情報、アーティストコラム等の情報発信や外部の音楽イベントと連携し、速報ライブレポートの掲載を行い、サイトの登録ユーザーやアクセス数の増加を図った。

また、音楽関係者および音楽ファンに向けて著作権・著作隣接権思想の普及を行った。

さらに、「NEXUS AID 義援金プロジェクト」並びに「音楽文化復興支援プロジェクト」を立ち上げ、会員社及び会員アーティスト、一般の音楽ファンに対し、呼びかけを行った。

②LIVE NEXUS

会員社所属アーティストの活動機会拡張のため、以下のライブを開催した。

また、KDDI「LISMO CHANNEL」と連携し、ライブから派生する関連コンテンツの活用を調査研究するため、番組製作を行った。

《LIVE NEXUS》

・LIVE NEXUS AID ANNEXUS (アーティストによる DJ ナイト)

開催日：平成23年6月10日(金)

会 場：ageHa @STUDIO COAST

出演者：

【LINE UP】石毛輝 (the telephones)、片平実 (Getting Better)、木幡太郎 (avengers in sci-fi)、サイトウ"JxJx"ジュン&ヨシザワ"モ〜リス"マサトモ (YOUR SONG IS GOOD)、SAKU (Dragon Ash)、鹿野淳、SHINICHI OSAWA、ダイノジ、DJ BAKU (POPGROUP)、DJ BOTS (Dragon Ash)、TOMOYUKI TANAKA (FPM)、ピエール中野(凜として時雨)、ぶどう from OKAMOTO'S、森雅樹 (EGO-WRAPPIN')、矢口雅哲 (ムック)

【WORLD WIDE MOUSHIWAKE NIGHT】

ミツイー申し訳(申し訳ナイトズ)、ギョウゾウ申し訳 Jr. (電撃ネットワーク)、GEE 申し訳 Jr. (GTS)、小西康陽申し訳 Jr. (PIZZICATO ONE)

【WORLD WIDE MOUSHIWAKE NIGHT -GUEST-】

松田岳二 (CUBISMO GRAFICO FIVE)、TGMX (FRONTIER BACKYARD)、DJ BOBO JAMES aka D.L. (ILLDWELLERS g.k.a ILLMATIC BUDDHA MC'S)、TK (COMEBACK MY DAUGHTERS)、KC (RIDDIM SAUNTER)

【LIVE ACT】avengers in sci-fi、環 ROY、LOW IQ 01&MASTER LOW

・LIVE NEXUS AID ANNEXUS (アーティストによる DJ ナイト)

開催日：平成23年11月18日(金)

会場：ageHa @STUDIO COAST

出演者：

【LINE UP】川上洋平 (【Champagne】)、草刈愛美 (サカナクション)、SAKU (Dragon Ash)、鹿野淳、
ダイノジ、タロウサイファイ (avengers in sci-fi)、DJ BOTS (Dragon Ash)、TOMOYUKI TANAKA (FPM)、
宮田岳 (黒猫チェルシー)、茂木欣一 (東京スカパラダイスオーケストラ/FISHMANS/So many tears)、
矢口雅哲 (ムック)、谷中敦 (東京スカパラダイスオーケストラ)、山口一郎 (サカナクション)

【WORLD WIDE MOUSHIWAKE NIGHT】

ミッツィー申し訳 (申し訳ナイトズ)、ギョウゾウ申し訳 Jr. (電撃ネットワーク)、
GEE 申し訳 Jr. (GTS)、LEGEND オブ伝説 a.k.a. サイプレス上野申し訳 Jr.、
MACKA-CHIN 申し訳 Jr. (NITRO MICROPHONE UNDERGROUND)

【WORLD WIDE MOUSHIWAKE NIGHT -GUEST-】

サイトウ"JxJx" ジュン (YOUR SONG IS GOOD)、松田岳二 (CUBISMO GRAFICO FIVE)、
TGMX (FRONTIER BACKYARD)

【LIVE ACT】group_inou、サカナクション、So many tears

・LIVE NEXUS presents 「岡村ちゃんとかまってちゃん」

開催日：平成24年2月24日(金)

会場：新木場 STUDIO COAST

出演者：岡村靖幸、神聖かまってちゃん

③チケット・マーチャンダイジング流通研究

コンサートチケットやアーティストグッズの流通における収益の向上や顧客情報の管理等の
在り方について、音楽プロダクションの視点から調査研究を推進するため、「NEXUS-web」を
活用した販売実験を行った。

※チケット取扱い／ 53公演 12, 432枚

※アーティストグッズ取扱い／ 286アイテム

④アーティストアプリ開発

会員社所属アーティストのプロモーション展開をサポートするため、iPhone 及び Android
携帯端末向けアプリの開発、制作を行った。

(2) 違法配信対策

ネットワーク上での違法な音楽コンテンツ配信利用の防止を目的として、CPRA MUSIC GUARDIANS の運営に参加し、違法な利用者に対する削除要請を行い、また直接的なユーザーとのやりとりを通じて、きめ細やかな啓発活動を展開した。特に、会員アーティストが多数参加した夏フェス等の各種イベントにブース出展し、パネル展示、音楽主義やキャンペーングッズ等の配布を実施、会場内で音楽ファンに MUSIC GUARDIANS メンバー登録を呼びかけた。

さらに、日本レコード協会が中心となって運営している「違法配信対策協議会」に関係省庁並びに関係諸団体、通信事業者と共に参加し、情報共有を行った。

(3) FMPJ 総合研究所

音楽制作を取り巻く環境が激変する中、音楽制作ビジネスの発展に寄与するため、音楽産業向けシンクタンクとしてFMPJ 総合研究所を運営し、各種の調査・研究、実証実験、データ整備、普及・広報活動を行った。特に、音楽産業の将来に大きな影響をもたらすであろう関係省庁並びに学会、情報・通信産業界等の動向の把握を目的として、勉強会や交流会を開催した。

(4) コンサートツアー中止保険

コンサート経費が高騰する中、コンサート中止による損害は、会員社個々のリスク及び負担になっていることから、低廉な費用で加入可能な音制連コンサートツアー中止保険団体保証制度を提供し、音楽制作事業を側面から支援した。

3. 会員相互交流の促進及び情報発信

(1) 組織活性

会員サポート委員会において、入退会情報等の収集、管理並びに新入会員へのガイダンスを行った。

また、会員社をはじめ音楽業界全体の懇親、交流を目的とした NEW YEAR PARTY、会員相互の懇親を目的としたゴルフコンペ、映画試写会等の各種親睦会、交流会を開催した。

さらに、会員社の活動を多方面から支援する会員相談室「とりあえず音制連」を運営し、関連情報を広報誌「音楽主義」に連載した。

①NEW YEAR PARTY

開催日：平成24年1月18日（水）（参加者 1,387 名）

会 場：セルリアンタワー東急ホテル ボールルーム

②ゴルフコンペ

開催日：平成23年9月30日（金）（参加者82名）

会 場：太平洋クラブ&アソシエイツ江南コース

③映画試写会

開催日：平成23年11月8日（火）《特別試写会》（参加者44名）

会 場：角川映画試写室

作品名：ジョージ・ハリスン/リヴィング・イン・ザ・マテリアル・ワールド

開催日：平成24年2月23日（木）（参加者226名）

会 場：TOKYO FM ホール

作品名：マーガレット・サッチャー 鉄の女の涙

③とりあえず音制連

会員の経営管理、法務契約等のサポート施策として音楽主義誌上に『とりあえず！音制連』を掲載した。主なテーマは次の通り。

- ・災害時の対応方法～各種保険や税務的な取り扱いについて
- ・会社での「権利」と「義務」について
- ・会社の一大事！突然社長が！-究極の危機管理-
- ・ライブ・コンサートの新しいビジネススタイル
- ・暴力団とのかかわり対策
- ・節税のための確定申告

（2）広報活動

①広報誌等の発行

フリーペーパー「音楽主義」の編集発行等を通じて、より多くの音楽業界関係者や音楽制作者を目指す学生、すべての音楽愛好家へ向けて著作権思想の啓発活動を行った。

また、「音楽主義」の配布先以外からの購読希望者に応えるべく、掲載内容を「NEXUS-web」サイトでも閲覧可能にした。

②会員年鑑の発行

会員年鑑「GREEN BOOK 2012」の編集発行を行い、会員社の各種情報を収集した。

(3) セミナー、研修会の開催

音楽制作事業に関連する諸問題に対応するため、また、会員社ビジネスの後方支援を目的に以下のセミナーを開催した。

①「音楽主義 プロデューサー列伝 番外編セミナー」

～すべてのヒットは運次第！// (株) キューブ北牧社長に聞く～

開催日：平成23年2月20日（月）（参加者16名）

会 場：第1部（概 論）：CBGK シブゲキ!!

第2部（交流会）：スペースシャワーTV ザ・ダイナー

講 師：北牧 裕幸（株式会社キューブ 代表取締役）

(4) 海外視察

欧米諸国における日本のアニメ、コミックを中心とした J-CULTURE ブームいわゆる“COOL JAPAN”の現状把握と音楽市場拡張の可能性を探るため、フランスの「日本文化見本市・JAPAN-EXPO 2011」を視察した。また、主催者はじめ欧州の音楽関係者との面談を通じて情報交換並びに今後の協力関係構築のための協議を行った。

日 程：平成23年6月30日（木）～7月3日（日）

会 場：フランス パリ・ノール ヴィルパント展示会会場

来場者：総数19万2000人

4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 公益目的支出計画

平成23年2月の旧法人決算総会において確認された公益目的財産額について、新制度に則り、公益目的支出計画を立案し、以下の事業を実施した。

- ・LIVE NEXUS
- ・25周年事業「音楽ミュージアム」研究
- ・東日本大震災への特別災害助成
- ・関係諸団体への後援助成

(2) 共通目的事業

平成23年度を以って終了する CPRA 共通目的基金の効果的な活用について調査研究を行い、同基金からの助成を受けて「LIVE NEXUS」を展開した。

(3) 社会貢献の実現

①東日本大震災の被災者支援

東日本大震災被災者支援のため、平成23年3月に設立した「特別災害支援預金」を活用し、以下の通り支援事業を遂行した。

なお、本支援預金は今限りとし、残金については全額取崩して預金を廃止した。

i) 東日本大震災 支援チャリティーコンサート What a Wonderful World in OKINAWA への協賛

主 催：www がんばれ東北! がんばれ日本! 実行委員会

開催日：平成23年4月10日(日)

会 場：宜野湾海浜公園コンベンションエリア

会場内設置の募金箱に集まったお金および会場内で販売するグッズ等の収益金を全額義援金とし、同実行委員会より以下の通り各県へ送金された。

義援金合計金額：15,156,954 円(募金額：13,147,064 円 出店販売：2,009,890 円)

寄附先：宮城県 宮城県災害対策本部 5,052,318 円

岩手県 岩手県災害義援金募集委員会 5,052,318 円

福島県 福島県災害対策本部 5,052,318 円

ii) 東日本大震災 支援チャリティーコンサート What a Wonderful World in KANSAI への協賛

主 催：東日本大震災 支援チャリティーコンサート in KANSAI 実行委員会

開催日：平成23年5月14日(土)

会 場：万博記念公園 東の広場

支援チャリティーコンサートへの参加料を全額義援金とし、同実行委員会より以下の通り各県へ送金された。

義援金合計金額：15,017,000 円(1,000 円×15,017 人)

寄附先：宮城県 宮城県災害対策本部 5,005,667 円

岩手県 岩手県災害義援金募集委員会 5,005,666 円

福島県 福島県災害対策本部 5,005,667 円

会場内に設置した募金箱に集まったお金および会場内で販売したグッズ等の収益金を全額支援金とし、「音楽文化復興支援プロジェクト」を通じて、石巻市教育委員会のご協力のもと下記の中学校3校に楽器を寄贈した。

支援金合計金額：3,778,354 円

(グッズ等収益：1,746,800 円 会場募金額：1,831,554 円 協力企業2社：200,000 円)

寄贈先：石巻市立稲井中学校 トランペット(2)、ユーフォニウム(1)、チューバ(1)、
アルトサックス(1)、テナーサックス(1)、
バリトンサックス(1)

石巻市立河南西中学校 トランペット(1)、ユーフォニウム(1)、ヴィブラホン(1)

石巻市立飯野川中学校 クラリネット(1)

iii) 東日本大震災 復興祭 2011 ～子供たちの未来のために～ への協賛

発起団体： 日本レコード協会、日本音楽事業者協会、日本音楽出版社協会、

日本音楽制作者連盟、コンサートプロモーターズ協会

開催日： 平成23年10月29日（土）・30（日）

会 場： 代々木第一体育館／代々木第二体育館 SHIBUYA-AX／オリンピックプラザ

チケット代および運営資金の残額を全額寄附金とし、以下の通り送金された。

寄附金合計金額： 95,211,000 円

寄附先： 宮城県 東日本大震災みやぎこども育英募金 31,737,000 円

岩手県 いわての学び希望基金 31,737,000 円

福島県 東日本大震災ふくしまこども寄附金 31,737,000 円

iv) NEXUS AID 義援金プロジェクト

会員社並びに一般の音楽ファンからの義援金を募り、以下の通り寄付した。

募集期間： 平成23年3月14日～平成23年7月31日

募金累計金額： 139,339,857 円

寄附先： 宮城県 宮城県災害対策本部 52,416,926 円

岩手県 岩手県災害義援金募集委員会 31,345,254 円

(内 1500 万円は「いわて希望の基金」へ振込)

福島県 福島県災害対策本部 31,345,255 円

茨城県 茨城県災害対策本部 10,535,835 円

千葉県 千葉県災害対策本部 7,375,085 円

栃木県 栃木県災害対策本部事務局 3,160,751 円

青森県 青森県災害対策本部 3,160,751 円

v) 音楽文化復興支援プロジェクト

音楽を通じた被災者支援、音楽文化の復興を目的とした支援金を募り、現在も継続中である。寄附先や支援内容については、被災各県の災害対策本部並びに現地の音楽関係者と検討を重ねている。

支援金累計金額： 18,797,129 円（平成24年3月31日現在）

②FMPJ MUSIC POWER AID 基金

音楽による社会貢献を目的として FMPJ MUSIC POWER AID 基金を運営。今期は東日本大震災における被災地域の文化的支援等に役立てるため、以下の寄付を行った。

i) OTO NO MORI 2011 への協賛

寄附先： OTO NO MORI 実行委員会

寄附額： 13 万円

開催日： 平成23年4月30日（日）

会 場： 勾当台公園野外音楽堂

(4) 25周年記念事業「音楽ミュージアム」研究

25周年記念事業として、当連盟に縁のあるポピュラー音楽並びにアーティストの足跡を記録し、次世代の音楽ファンに継承するため、「音楽ミュージアム」の研究を行った。今年度は主に70～90年代の音楽史、アーティスト活動情報をテーマ別に収集し、デジタルアーカイブ化を開始した。

また、上記収集データについては、隣接権処理のための補足資料として活用した。

さらに、音楽関連事業者や各種メディア、文化関連施設等と連携して、収集データを活用した展示会並びにトークイベントを以下の通り開催した。

①「MUSIC × FASHION」

展示会開催期間：平成23年12月11日（日）～平成24年1月8日（日）

展示会場：代官山蔦屋書店

トークイベント：

VOL.01「僕たちと音楽とファッションのいい関係」

平成23年12月11日（日）

高橋幸宏（ミュージシャン）× 栗野宏文（ユナイテッドアローズ）

VOL.02「カッコよくなければ音楽じゃない!？」

平成23年12月17日（土）

野宮真貴（ミュージシャン）× 高橋靖子（スタイリスト）× 湯山玲子（著述家・ディレクター）

②「MUSIC × WORDS」

展示会開催期間：平成24年3月26日（月）～4月30日（月）

展示会場：代官山蔦屋書店

(5) 後援助成

音楽文化の振興に寄与するため、音楽芸能の普及及び社会的貢献を目的とした以下の事業に対する後援あるいは協力を行った。

①Act Against AIDS (AAA)

青少年に対するエイズ予防の啓発活動を行うAAAに運営会員として参加し、後援した。

②音楽著作権管理者養成講座

日本音楽出版社協会（MPA）が主催する「音楽著作権管理者養成講座」を後援した。

③第8回東京国際ミュージックマーケット (TIMM)

アジアの音楽関係者が東京で一同に会し、アジア音楽産業の発展及び相互の連携を支援することを目的とした「東京国際ミュージックマーケット (TIMM)」を後援した。

共 催：経済産業省、音楽産業・文化振興財団 (PROMIC)

開催日：平成23年10月24日（月）～27日（木）

会 場：品川プリンスホテル、品川ステラボール

④第4回CDショップ大賞

音楽を取り巻く様々な課題がある中、CD ショップの現場からもっと音楽を盛り上げていくために設立。メジャー・インディーズを問わず、過去一年間に発売された作品を対象とし、全国のCD ショップ店員の投票によって“素晴らしい作品”を選び、伝えることを目的とした『CD ショップ大賞』を後援した。

主 催：全日本CDショップ店員組合

開催日：平成24年2月27日（月）

会 場：SHIBUYA BOXX

⑤音楽家のためのサロン・セミナー

日本芸能実演家団体協議会が開催したセミナー「録音した音楽のデジタル編集をマスターしよう」に協力した。

主 催：日本芸能実演家団体協議会

開催日：平成23年8月30日（火）・31日（水）

会 場：芸能花伝舎

⑥もっと文化を！キャンペーン

日本芸能実演家団体協議会が文化芸術振興基本法制定10年を期して、政府の文化芸術政策の充実を目的に実施する「もっと文化を！2012」に対し、署名活動の協力を行った。

⑦第1回PREシンポジウム

映像実演権利者合同機構が開催したシンポジウム「放送通信融合時代のコンテンツ流通と実演家の権利を考える」に協賛名義協力した。

主 催：映像実演権利者合同機構 (PRE)

開催日：平成23年9月22日（木）

会 場：東京會館

⑧ライブ・エンタテインメント調査レポート

『2011ライブ・エンタテインメント調査レポート』制作への協力を行った。

⑨違法ダウンロードへの罰則導入を求める音楽団体

日本レコード協会が「違法ダウンロードに対する罰則の導入」について反対あるいは消極的な意見を持つ国会議員に向けて作成した『音楽業界の意見書』に名義協力した。

⑩第26回日本ゴールドディスク大賞

CD、ビデオ等の売上によって、音楽産業の発展に貢献のあったアーティスト及び作品に対し顕彰を行う日本ゴールドディスク大賞を後援した。

主 催：日本レコード協会

開催日：平成24年1月27日（金）

会 場：ニコファーレ

⑪MIDEM JAPAN STAND 2012

国際音楽見本市 MIDEM において、音楽関連団体ブース「JAPAN STAND 2012」の出展に後援及び協力を行った。

主 催：日本音楽出版社協会（MPA）

開催日：平成24年1月28日（土）～31日（火）

会 場：フランス・カンヌ 国際見本市会場内

⑩SHIBUYA LIVE RALLY

渋谷周辺のライブハウスが多数参加し、1枚の共通チケットでいろいろなアーティストのライブが楽しめるイベント「SHIBUYA LIVE RALLY」に後援した。

主 催：SHIBUYA LIVE RALLY 実行委員会

開催日：平成24年3月25日（日）

会 場：SHIBUYA CLUB QUATTRO、O-EAST、O-WEST、duo MUSIC EXCHANGE、
Mt. RAINIER HALL SHIBUYA PLEASURE PLEASURE、WWW

（6）関係団体との協力

①日本音楽事業者協会（JAME）

プロダクション団体の視点から、多様化する著作権隣接権の健全な概念・処理の在り方の調査、研究を協力して行った。特に、aRma の業務運営や SYNC MUSIC JAPAN、MUSIC GUARDIANS 等のプロジェクト展開について協議を行った。

②日本音楽団体協議会（音団協）

日本音楽事業者協会、日本音楽出版社協会とともに日本音楽団体協議会を運営し、実権利者団体としての立場から、将来の音楽文化普及、啓発に資する活動を行った。

特に今期は、国内アーティストのオフィシャル情報を英訳し、海外に向けて発信するプロジェクト SYNC MUSIC JAPAN を活動の柱とした。

③SYNC MUSIC JAPAN

日本の音楽エンタテインメント情報を世界に発信することを目的として、音団協が主催する「SYNC MUSIC JAPAN」の運営に参加し、海外展開を目指す国内アーティストのプロフィールページを集約統合し、アーティスト活動情報や各種ニュースを英文で配信した。また、国内で開催されたライブの USTREAM 中継を行った。さらに、将来的に国内アーティストの海外公演を円滑に展開するため、TIMM へのブース出展等を通じて、欧米諸国を中心とする日本文化関連フェスティバルのオーガナイザーやコンサートプロモーター、ディストリビューター等への協力要請を推進した。

また、外務省からの要請を受け、JAPAN POP CULTURE FESTIVAL 2011 in Russia における講演会に講師を派遣した。

④コンサートプロモーターズ協会（ACPC）

プロダクションとプロモーターとの共通課題、コンサートビジネスの健全な在り方について情報交換を行い、特に今年度は東日本大震災直後の公演中止や延期対応、電力不足対応について協議し、共同で提言を行った。

また、国内のライブエンタテインメント市場規模を把握するため、日本音楽事業者協会並びにコンサートプロモーターズ協会と協力し、「ライブ・エンタテインメント白書」を編集発行した。

⑤音楽産業・文化振興財団（PROMIC）

PROMIC が主催する東京インターナショナル・ミュージック・マーケットに参加協力し、音団協として SYNC MUSIC JAPAN ブースを出展し、海外の音楽市場動向に関する情報収集を行うとともに、国内アーティストの海外展開について側面支援を行った。

⑥以下の3団体に正会員として加盟し、当連盟の会員にとって有益な情報収集や提案を行った。

- ・日本芸能実演家団体協議会（芸団協）
- ・著作権情報センター（CRIC）
- ・肖像パブリシティ権擁護監視機構

(7) 協議会等への参加

以下の協議会等に参加し、音楽に係る著作権及び著作隣接権の保護の諸施策やデジタル化及びネットワーク化に起因する諸問題への対策、日本の音楽文化やコンテンツ産業の擁護について検討を行った。

- ・ AMO 代表者会議（音事協、音制連）
- ・ 日本音楽団体協議会（音事協、MPA、音制連）
- ・ SYNC MUSIC JAPAN（音事協、MPA、音制連）
- ・ デジタル問題対策会議（権利者 7 団体会議）
- ・ 違法配信対策プロジェクト（関係 7 団体）
- ・ コンテンツ海外流通促進機構
- ・ 民放連「放送番組のネット配信等権利処理に関する連絡会」との協議
- ・ 放送コンテンツ権利処理円滑化連絡会（総務省実証実験連絡会）
- ・ 音楽文化振興議員懇談会
- ・ 音楽議員連盟
- ・ スペースシャワーTV 放送番組審議会
- ・ ミュージックオン TV 放送番組審議会
- ・ 沖縄国際アジア音楽祭実行委員会
- ・ 世界のウチナーンチュ大会実行委員会

(8) 講師派遣

①「J ポップのグローバル化と国際放送の役割」シンポジウム

主 催：東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科毛利嘉孝研究室

グローバル J ポップ研究会

開催日：平成 23 年 4 月 23 日（土）

会 場：東京芸術大学音楽学部千住校地 スタジオ A

講座名：グローバル化する J ポップ

講 師：山口哲一（理事）

②新時代の音楽ビジネスフォーラム 2011

主 催：尚美ミュージックカレッジ専門学校

開催日：平成 23 年 11 月 3 日（木・祝）

会 場：SHOBI バリオホール

講座名：これからのミュージックビジネスにおいて必要とされる人材とは

講 師：松野玲（副理事長）

③音楽著作権管理者養成講座

主 催：日本音楽出版社協会（MPA）

開催日：平成23年11月8日（火）

会 場：フロラシオン青山「芙蓉の間」

講座名：プロダクション

講 師：野村達矢（理事）

④JAPAN POP CULTURE FESTIVAL 2011 in Russia

主 催：在ロシア日本国大使館

開催日：平成23年11月17日（木）～21日（月）

会 場：中央芸術家会館（The Central House of Artists）／モスクワ

講演名：世界で愛される J-ROCK 歴史と展望

講 師：大石征裕（理事長）

⑤東京工科大学メディア学部寄附講座

主 催：コンサートプロモーターズ協会（ACPC）

開催日：平成23年12月20日（火）

会 場：東京工科大学メディア学部

講座名：メディア特別講義Ⅱ ライブ・エンタテインメント論

講 師：野村達矢（理事）

以上